いいやま女性センター表来パワーアップ講座修了!

訪問介護員養成研修2級課程

今年で4年目となる訪問介護員(ホームヘルパー) 養成研修2級過程の修了式が10月29日に行われ、 130時間のカリキュラムを学んだ20人に修了証明書 が授与されました。今年度も、ハローワーク飯山の協 力を得て、4社の合同面接会を修了式に合わせ開催 しました。受講生の今後の活躍が期待されます。

受講生の声 …

- ◇いろいろな講師の話を聞き、人間としてたくさん 学ぶところがあり、これからの人生に役立てたい。
- ◇介護に対しての自分の気持ちの持ち方が変わった。
- ◇この研修を終えて、始める前に比べ、何か人間的 にひとまわり大きくなったような気がする。
- ◇介護福祉関係の仕事をしているが、基礎から学ぶ

ことができた。こ こで学んだことを 今後の仕事に生か していきたい。



日商簿記検定3級講座

7月から11月までの5ヶ月間、全20回で開催。 受講生は、秋の試験に挑戦しました。「簿記の基礎知 識」を、今後に生かしてほしいと思います。

受講生の声・・・

- ◇授業は分かりやすくとてもよかった。
- ◇受講生が熱心だったので刺激され頑張ることがで きた。
- ◇試験まで日数がなく、もう少し余裕が欲しかった。

A・F・T色彩検定3級講座

6月から11月まで全10回で開催。「色」に関する 知識は、今後の生活、仕事に生かすことができます。 受講生の声・・・

- ◇毎回、実技もとても楽しかった。また機会があっ たら参加したい。
- ◇色から自分と向き合うことができることを体験で きた。これからの参考にしていきたい。

べ市内在住または たできます

参方は

加な市

申込・問い

合わせは

女性センター

参加費

30

講会師場

センター未来 飯山警察署

~3時10分

十後1時30分 -月28日 (木)

保育サービス ステップアップ講習会

今年度はさらなる向上を目指し、子どもの健康、救 急法など再確認の内容を入れ、2日間の日程で受講生 17名で開催しました。

受講生の声 …

- ◇『子どもに事故キケンは つきもの』を常に頭に置 いて、起こってしまった 時の冷静な対処の大切さ が納得できました。
- ◇忘れていることも多く、今回参加して良かった。時々 やっていただけると新しい情報も得ることができ 良いと思う。
- ◇年を重ねると、若い人たちの子育ての様子を見て ハラハラすることが多くあるが、この講座に参加し て子育てが変わっていることに気づき安心した。
- ◇救急法が変わり、再確認することが多くあった。

わたしのしあわせオーラをUPさせる講座

毎日頑張っている自分にごほうびをあげる講座を開 催。「自分カウンセリング」では傾聴、「リラックスタイ ム」ではセルフマッサージのこつ、「もっと上手なコミ ュニケーション」では気持ちの伝え方を学びました。

受講生の声 …

◇自分とは何か、どう思っ ているか声に出してみて 初めて気がつく自分が居 ると思った。人の話を聴 くことも自分を振り返るこ



とができると思った。意識して言葉を交わしたい。

- ◇自分が幸せになるために笑顔の大切さ、話し方、 聴き方など大変参考になった。明日からの生活に 役立てたい。
- ◇具体的でわかりやすく、楽しかった。□角UPして、 しあわせオーラに磨きをかけたい。
- ◇どの講座も一度なのは残念です。身近な家族に対 して、もっと言葉で表現していきたいと思った。3 回の講座どれも楽しく受講できました。

はる護身術を学んると関係なく誰にもない、年齢・体るとの、年齢・体のと関係なく誰に対処をするというない。女性に対処のなたはこの危機のなたはこの危機のない。

が女性のため 術の



展させて男性と女性がそれ共同参画と、そこから発スト内山二郎さんは「男女講師のフリージャーナリ 作って んとの うことをみなさんと一 れの個性を出 てこの いったらいいの地域をどう 家 きた し合 んつて のか なが

くのか、今日の的にどういう地と育てながら、 発で、 が深まりました。 人の発言からどんどん を繰り広 \exists 山さんは「今日は一 自治意識をもつ ただけ でなくここか 「って受講! るの 一緒に熱 形式 ま はない もっともっこれでお 原を具 生と地元 のワ í ま し .議論 揚



|原地区男女共同| |座」第4回は、公|

2参画学

なたと私の

共同参画

緒に村づく

ら in

柳原

地域自治組織における男女共同参画実態調査結果の概要

県では昨年10月から今年1月にかけて県内の自治会長(区長)さんにご協力いただ き「地域自治組織における男女共同参画実熊調査」を実施しました。飯山市の区長さん にもご協力いただきました。調査結果の概要は次のとおりです。

地域の行事では、力仕事は男性、接待は女性と 決まっている。

2 自治会の会長は男性と決まっている。

自治会の責任ある役職(会長、副会長、代議員、 理事、幹事等)はほとんど男性が占めている。

4 役員や組織の運営事項は男性だけで決めている。

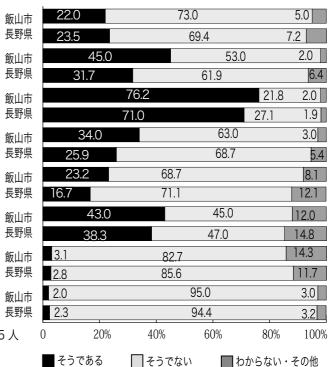
になっている。 女性自身が責任ある役職につくのを避けようと

実際の仕事は妻がしているのに名義は夫の名前

女性が責任ある役職につこうとすると、男性や他の女性から非難や反対がある。

地域での共同作業に女性が出た場合、1人前と

調査対象 県内 11 市町村の自治会長(区長)575 人 (その内 飯山市 101 人)



そうである グラフ中、端数処理のため、合計が100%とならない場合があります。

平成 21 年 4 月現在の長野県における女性の自治会長、公民館長、小中学校 P T A 会長は、 それぞれ 0.8%、6.2%、3.5%と全国的に見ても低い状況にあり、意志決定に関わるリーダー はほとんどが男性で占められています。住みよい豊かな地域づくりのためには、その方針づく りや決定の過程に女性も積極的に参加していくことが必要ではないでしょうか。

人権政策課男女共同参画係 電話: 0269-62-3111 FAX: 0269-62-5990 (内線 371)

き男女世

同 失

曲

E-mail: jinken@city.iiyama.nagano.jp

いいやま女性センター未来 飯山市大字飯山 1431 電話・FAX: 0269-62-0543

E-mail: center-mirai@city.iiyama.nagano.jp

> 09.12 No.104

25 いきいき男女共同参画/09.12